



2018. 7月号 Vol. 51

編集・発行／リプロネットみやぎ

CONTENTS

- 2018年度通常総会 開催報告
- 会員研修会 開催報告
- 「からだところの今を知る 基礎講座」

## 2018 年度通常総会 開催報告

6月2日(土)に大塚製薬(株)様の会議室をお借りして、2018年度通常総会が開かれ、新年度の活動が決まりました。出席者は21名、委任状提出10名で、会員総数49名の過半数となり、総会は成立。議長には山本蒔子氏が選出され、議事録署名は北山潔氏で承認されました。

### ◆代表挨拶

昨年度の大きな事業であった『みやぎの女性と男性「からだ性と性のホンネ！2017」アンケート』については、昨年12月に結果報告会を行い、3月には報告集を発行し、やっとひと区切りついたような気持ちです。

現在、社会で様々なかたちで取り上げられている若者世代の性の草食化や夫婦のセックスレスの傾向がアンケート調査でも顕著に現れました。その一方で、お互いの関係性を強く意識している回答も多くみられ、前回調査と比べて、関係性については前進したのではとホッとしました。調査を通して、現代社会の背景になにがあるか、みえてきたように思います。

私たちリプロネットみやぎも今年で創設20周年を迎えます。この間性の問題を通じて、からだところ、パートナーとの関係性などについて考える様々な活動を、社会の底辺で地道に続けてきました。これからリプロがどう活動していくか、会員の皆様と一緒に考えていきたいと思っています。

### ◆2018年度の活動◆

#### 1. 基礎講座の開催(年5回)

##### 《事業の目的》

- ・からだところの話題を取り上げ、リプロダクティブ・ヘルス/ライツとの関わりを示す。
- ・仙台市で「リプロネットみやぎ」が活動する意義を再確認する。

## 《開催テーマ並びに講師》

1)「女性」を生きる～知っておきたい、からだのこと、ピルのこと～

船山由有子先生 \*9月8日開催決定

2)性被害・セクハラ・性暴力「いま大学で」(仮題)

沼崎 一郎先生 \*10月6日開催決定

3)アンチエイジングと漢方の話題を組み合わせ(仮題)

池野 由佳先生 \*1月開催予定

4)ホンネアンケートから「若い世代の結果に注目」(仮題)

村口 喜代表 \*2月開催予定

5)健康に生きるためのロコモ

土井 豊先生 \*3月開催予定

## 2. イコールネット主催「若者のための市民活動体験」への継続参加

・大学生を対象に市民活動への理解を深めてもらう体験型事業(9年目)

## 3. 「りぷりにゅうす」の発行 (年4回程度)

## 会員研修会 開催報告

総会後講演会が行われ、参加者は一般9名、会員22名、計31名でした。

演題は「高等学校における性に関する指導～現在どのような状況か～」。

講師の加藤尚子さんは、現役ベテランの県立高等学校養護教諭の方です。現在は休業し東北大学大学院で学んでおられます。

①高等学校の性に関する指導の全体像について ②実際の状況  
③今後必要と思う事、についてお話しされました。



1)高等学校の性に関する指導の全体像については、学校での教科の紹介、関係本の紹介がありました。下記の3本柱があるそうです。

○保健体育にて…心身の発達と健康、性感染症の予防に関する知識。(1・2年生で一週間に1時間ある)本は保健体育のテキスト・文部科学省の「生きる力」を育む高等学校保健教育の手引き。「健康な生活を送るために」というテキストがある。これには、話題になった年齢と妊娠の確率についての内容が入っているそうです。私はこの事は、大事な学びだと思っています。

○家庭科にて…家族や子どもの発達について学ぶ。

家庭科基礎で2単位・週に2時間、他の保育についてもっと学ぶ子もいる。家庭科総合で4単位の学校もある。現在は男性の家庭科の教師も増えているそうです。

○特別活動にて…生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築する。

## 2) 実際の状況

総合学習の紹介がありました。例)1年で妊娠と出産。例)3年ではセクシュアルライツについて。これはデートDVやセクハラなど取り上げて展開している。学年を半分に分けたり、クラス毎に実施するなど、きめ細やかな進行を行っている。2年は、薬物乱用の講座があり、性の事で時間が取れない。養護教諭は事前に内容を学校に伝える、感想は記名で生徒に書いてもらう。感想には、個別に返事を書いているそうです。記名感想は、生徒の本音が出てくる貴重な機会との事でした。デートDVは、県からのテキストを利用し、担任と養護教諭でロールプレイも行うそうです。生徒には、すでにかなりデートDVの体験もある。講義内容を、保健たよりに掲載して繰り返し学べる様に工夫しているそうです。

現場で留意する事は、発達段階を踏まえること、学校全体で共通理解を図ること、集団指導と個別指導連携を密にして効果的に行うこと、でした。

保健室などでの個別指導では…わからない事、疑問に思っている事、困っていることに寄り添い、対応してゆくを大事にしている、そうです。

## 3) 今後必要と思う事

発達系に課題のある子の性に関する指導が課題として大きいと話されました。性の問題は、自分がどのように生きていくのかの教育であり、学校全体で、年間計画に組み込んで行う。一人一人に合わせて、色々な人と連携して行うことを心掛けている、そうです。

質問を会場から紙に記載してもらい、講師にお渡ししました。中学校の性の教育についての質問には、参加されていた現役の中学の養護教諭の方が会場から発言くださいました。養護教諭を目指している女子大学生も複数参加され、その方々へのアドバイスも、養護教諭のベテランの方よりありました。その他にも質問は多岐にわたりましたが、加藤講師は会場の専門家の発言を上手に引き出され、非常に和気藹々の研修会でした。とても有意義だったと思います。



【参加者の感想～アンケート回答から～】

- 高校での性教育でどのようなことを学ばせるべきか、現代の高校生の性の問題、学校現場での養護教諭の意見などを聞いた貴重な機会でした。(20代・女性)
- 発達障害や性的マイノリティを抱える生徒への関わり方、配慮が課題であると実感した。(50代・女性)
- 高校の性教育は、やはり現実的な性行動の悩みが多いと思った。基礎づくりが大事。(40代・女性)
- 性教育へのバッシングがある中で、よく頑張っておられるなと思いました。(80代・女性)

「からだところの今を知る 基礎講座」を開催します。  
第1回 「女性」を生きる～知っておきたい、からだのこと、ピルのこと～

避妊だけではなく、  
女性の性と人生に深く関わるピルについて理解を深めます。  
関心のある方へのご案内をお願いします。  
メールもしくはファクスで、氏名、連絡先を記入してお申し込みください。



講師: 船山由有子先生(産婦人科医・リプロネットみやぎ会員)

日時: 9月8日(土) 15:00～17:00

会場: 仙台市民活動サポートセンター「研修室2」

会費: 500円



[編集後記]

6月の関西一円の大地震に続いて、7月には西日本の広い範囲で多くの被害をもたらした豪雨災害が発生し、そして猛暑。犠牲となった方たちのご冥福をお祈りし、一刻も早い復興と適切な被災者対応を望みます。  
人ごとではない、まだ被災地でもあるここから何ができるか、いろいろな思いが交錯する日々です。

事務局 村上由美子

リプロネットみやぎ事務局

FAX: 022-292-0167

e-mail: repro@muraguchikiyo-wcklinic.or.jp